

2005年春浅号 news

特定非営利活動法人
都市生活コミュニティセンター
〒663-8231 西宮市津門西口町7-3
TEL0798-36-6679 FAX0798-36-5114

イタリアのB型社会協同組合

前川 智佳子

子どもが犠牲になる事件が毎日のように起こっています。また、2月4日(木)愛知県で乳児が殺傷される事件が起きました。何ともいえない憤りが体中に走りました。本当に許せない。同情の余地などない。そんな気持です。

犯人の背景が報道されると私は去年11月生活クラブ運動グループと一緒に参加した福祉ツアーのB型社会協同組合を思い出しました。

B型社会協同組合は1990年代以降にイタリアで急速に発展した協同組合です。B型社会協同組合、「社会的に不利な人々」が30%組合員として加入していることが条件です。「兵庫県では生協都市生活が生協と認可される時は、組合員数の条件は3000人。」→「イタリアでは社会的に不利な人々が30%以上」なのです。

では、社会的に不利な人々とはどんな人たちなのでしょう。身体・精神・感覚障害者、入院歴のある精神障害者、通院中の精神障害者、薬物依存症者、アルコール依存症者、家庭状況から労働に従事す

る未成年者、法律に基づく獄外労働許可取得受刑者などです。(市民セクター主任研究員 佐藤紘毅氏によりますと)

私の中には社会的弱者つまり女・子ども・お年寄り・障がい者がありますが、社会的に不利な人々という考え方はありませんでした。

乳児殺傷事件を考えたとき気になったのが、<犯人が刑務所から1週間ほど前に出てきたばかり>と言うところです。刑期を終えた人が社会に出てきたときそれを迎える社会が整っていないことが明白です。勿論刑期中の教育も重要になりますし更生されていることが条件ですが、社会に出てきたときどのように社会にとけ込むのか、その仕組みを日本が作らない限り、同じような事件は防ぎようがないと考えます。

イタリアでは2000ものB型社会協同組合を行政の支援を受けて発展させています。安心できる暮らしの形成はB型社会協同組合の様な考え方を導入した組織をきちんと作ることも出来ないと考えたりしました。

「震災10年の集い」

2005年1月17日(月)西宮勤労会館で開催されました「震災の集い」は全国からの参加も加えて53名で、懐かしく昔話に話が咲きました。新しい出会いもあり有益な夕べを過ごすことができました。参加くださった皆さんお疲れ様でした。都合で参加できなかった方はいつでも都市生活コミュニティセンターにお越しください。



1.17 神戸市長田区御蔵5丁目にて

新潟中越地震視察報告 (前川 智佳子)

2004年12月27日(月)20時頃新潟へ向かうために、東京行きの夜行バスに乗り込みました。新幹線に乗り継ぎ、28日(火)11時に新潟の十日町駅に到着。そこは雪景色。神戸の震災の様子が目に焼き付いている私にとって、地震があったとは思えませんでした。しかし、駅から一歩出て、「地震のため・・・」の看板や足場が組まれている建物を見ると地震に見舞われた恐ろしさをまざまざと思い出しました。

28日の昼から長岡市に建てられている山古志村の住民が住む陽光台仮設を訪問しました。陽光台仮設は約300世帯の住民が住んでいましたが、マスコミの取り上げられ方が大きかったので、多くのボランティアが支援に入っていました。それぞれに置き薬や温かい豚汁を住民を一戸ずつ訪問して届けながら、住民の話に耳を傾けていました。ポートアイランドの仮設では実現できなかった仮設内の交番・役場・診療所・床屋・ボランティアセンターなどが併設されていました。住まいと場所は違うのですが、今までの暮らしに近い状況がつくられていて、何か少しだけほっとしました。何よりも同じ地域の住人が一緒というのは心強いことだと感じました。

29日は朝から十日町市に建てられている樽沢の住民が住む吉田仮設を訪問しました。小さな仮設で25世帯でしたが、小さいためかボランティアの支援がいき渡らないようでした。手袋・マフラー・お出かけ袋などを渡しながら、住民の話を聞ききました。「どうぞ、どうぞお上がりください。」の声に上がり込んで1時間以上話し込みました。住民とボランティアが地震のことを話すことで、時間を共有できることは重要だと認識しました。「また、来てください。」の声に後ろ髪を引かれながらお宅を後にしました。

今、ニュースを見ながら山古志の人は、樽沢の人はと気になり、早く春が来てと祈らずにはいられません。



～インフォメーション～

●被災地交流集会

被災地の協働で復興制度を考える ～第1回被災地交流集会 in KG

2月12日(土) 13:00～15:00 会場*関西学院大学・関西学院会館 (0798-54-6104)

主催*関西学院大学災害復興制度研究所・被災地NGO協働センター・都市生活コミュニティセンター

2004年度☆介護保険事業報告

★あ・し・す・と(垂水)

★あしすと武庫之荘(尼崎)

●現在、2つの事業所を拠点に都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業を行っています。

●武庫之荘では居宅介護支援事業(ケアプラン)も行っています。

